

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

若い世代の活力を生かし、高齢者が住み慣れた社会でイキイキと継続して暮らせるようサービスを提供し、得られた収益を再投資することで熊本を活性化し持続可能な社会の実現を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	ペーパーレス化	印刷枚数20%削減 2023年度→48000枚 2026年度→38400枚
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	ICT技術の活用により、業務効率を向上	記録時間20%削減 2023年度→120分/1人1日 2026年度→96分/1人1日
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	有給休暇取得率 向上	有給休暇取得率 2023年度→83% 2026年度→90%

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。**(例:採用の人数:2023年○人→2026年○人)更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

利用者社員株主社会全体などと連携を強化し、持続可能な社会の実現に貢献する。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	ペーパーレス化	2020年度を基準に 40%削減
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	DXの推進により、FAXからメールの利用促進したことにより、印刷して紙で確認しファイルリングして保存する事がなくなりPDFを画面上で確認しクラウドに保存するといった作業ができるようになった	2023年度45%削減
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	ICT技術の活用により、業務効率を向上	2020年度を基準に 50%削減
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	タブレットの数を増やし、ICT技術(アプリ)の導入をしたことで、情報の共有や書類作成の時間短縮ができたしかし、当初の目標が高すぎた	2023年度20%削減
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	有給休暇取得率 向上	2020年度の取得率63% を取得率70%
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	ICT導入により働きやすい職場環境をアピールできたことにより、職員確保がしやすくなり休みを取りやすい環境ができた	2023年度取得率83%

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。